

◆ 事務局一同よりご挨拶

明けましておめでとうございます。
 本年は、事務局スタッフ一同、初心に返り、常に迅速且つ正確な業務処理が出来るように弁護士業務の補助に全力で取り組みますので、昨年同様のお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。
 皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



事務局一同より

Service

当事務所では、顧問の皆様に対し、以下のリーガルサービスを提供しております。
 未だ顧問契約を締結していない場合であってもご相談に応じます。
 ご興味をもたれたら、遠慮なく当事務所(事務局 木村)までお問い合わせください。

■ 御社で法律相談を行います。

事件の相談を受けると、なぜもっと早期に相談してくれなかったのかという思いに駆られることがよくあります。そこで、ご希望される企業に対しては、定期的に当事務所の弁護士が出かけ、法律相談を実施いたします。

また、この法律相談の機会を、福利厚生の一つとして、従業員が個人的な法律問題を無料で相談できる場にしていただいても構いません。

弁護士は全ての問題を解決できるわけではありませんが、弁護士であれば解決できる問題は確かにあります。我々をご活用ください。

■ 従業員向けセミナー等の開催

色々な場で弁護士による法律セミナーが開催されておりますが、各企業がその時々で直面する法律問題は、業種や規模などによって異なります。

当事務所では、これまでも個々の企業からのご依頼で、弁護士が講師となって従業員向けのセミナーを開催しておりますが、顧問契約を締結している企業からご希望があれば、初回に限り、基本的に無償でそのようなセミナーを開催させていただきます(なお、交通費はいただく場合があります)。

従業員に対する研修の一貫としてご活用いただければ幸いです。



撮影者
株式会社浦野設計
浦野三男様

明けましておめでとうございます。

お正月はいかがお過ごしでしょうか？

昨年は、熊本地震、台風による東北・北海道の水害、鳥取県中部地震等自然災害による被害の多発やいじめによる自殺などの暗いニュースがありましたが、リオ五輪での日本人の活躍や大隅良典氏のノーベル医学・生理学賞受賞などの明るいニュースも沢山ありました。

新しい年が皆様にとって夢と希望に満ちた1年となりますように心からお祈り申し上げます。

さて、4月以来、愛知県弁護士会会長兼日本弁護士連合会副会長として、東京との往復だけでなく、全国各地での大会や、モンゴル、ポルドーでの国際会議にも参加いたしました。各国の法制度が異なっても、弁護士の「人権」や「法の支配」に対する思いは同じであり、共通の認識の下に大変有意義な意見交換をすることができました。

国内外を問わず、社会は大きく変化してきていますが、それに対応して、変えていかなければならないもの、また、変えてはならないものがあります。

変化への対応力を磨き、今年も健康に留意し、職務に精励してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



石原総合法律事務所
所長弁護士 石原真二



石原総合法律事務所

愛知県名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル10階
 TEL:052-204-1001 FAX:052-204-1002
 MAIL:mail@ishihara-lawoffice.com
 営業時間:9:00~18:00 休業日:土・日・祝
 ※当ビル地下2階に、無料駐車場(2台分)有り。他、近隣に有料パーキング有り

最寄駅

地下鉄東山線伏見駅1番出口徒歩3分
 地下鉄ご利用の方は、東山線・鶴舞線伏見駅北改札口を出て、1番出口をご利用下さい。
 なお、平日7:30から23:00までは、地下鉄東山線栄方面藤が丘行きホームの東改札口から伏見地下街を通り、C出口を出ていただければ、豊島ビル前に出ることができます。



事務所からの お知らせ	事務所の年末・年始のお休みは、12月29日(木)から1月4日(水)までで、1月5日(木)から平常通り業務いたします。
----------------	--



副所長弁護士 花村 淑郁

皆さま、明けましておめでとうございます。

本年も倍旧のご厚情を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

さて、昨年囲碁界では、コンピューター（ソフト名：アルファ碁）が世界のトッププロ（韓国のイ・セドル）に、5戦して4勝1敗と圧倒的勝利を収めました。既に将棋では数年前に、チェスでは10年以上前にコンピューターが勝っています。囲碁は盤面が広いので、当分人間が負けることはないと思われていたのですが、豈図らんやです。仄聞するところ、医療の診断もコンピューターは優秀らしい。今に、弁護士や裁判官の仕事も、コンピューターが取って代わる時代が来るのでしょうか。そうならないことを祈るばかりです。



副所長弁護士 梶田 勝彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年はイギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領誕生と思いがけない事態が相次いで起こりました。世界はグローバル化と言いつつ、分離、不安定化しているように思います。

かといって私達にできることは日々仕事をし、生活していくことだけです。凡庸な言葉ですが、一つ一つ地道に努力を続けていくことでしか道は開けないように思います。

今年も体力の許す限り丁寧な仕事をしたいと思っています。



弁護士 清水 綾子

毎年、新しい年が始まると、何か新しいことを始めたくくなります。毎年そう思って何か始めるのですが、幾度となく新しい年を迎えてなお新しいことを始めることができるのは、前に始めたことを継続していないからに他なりません。昨年は、加圧トレーニングを始めたなあ。「継続は力なり」ですが継続することは本当に難しい。永遠の課題となりつつある「継続」を探求するか、新しいこととの出会いを期待するか。新しい年という区切りがあるために、毎年反省とワクワク感との狭間で揺れ動いています。

本年も、よろしくお願いいたします。



弁護士 鈴木 隆臣

明けましておめでとうございます。昨年は、ポケモンGOの配信が開始されて、大人気となりました。実は、私の家族もけっこうハマっていて、あちこちポケモンの捕獲に出向いていました（私はやっていないので1人だけ蚊帳の外です）。ところで、マナーを守って楽しんでいけば良いのですが、自動車を運転しながらポケモンGOをしていて死亡事故を起こしたという悲しいニュースもありました。自動車は本来的に大変危険な乗り物であることを今一度思い起こして、運転者各自が自制していきたいものです。

今年も一年間よろしくお願いいたします。



弁護士 伊藤 歌奈子

「英語」は、大学以来、10年以上、勉強してきませんでした。司法試験の勉強が辛くて、もう根詰めた勉強をしたくないと思っていたのです。

ところが、一昨年秋、中川弁護士に無理矢理、人数合わせの為、2回ほど英会話教室に出席させられました。付け焼き刃的に、「中学3年間の英語を10時間で復習する本」を5日読んで臨みました。外国人講師前に、ほとんど分からないながら、少し通じる楽しさを感じました。そして、弊所は、マラソンにも取り組んでいますが、一昨年の忘年会の席で、所長は「事務所60周年記念のときには事務所旅行をホノルルマラソン!？」という発言もあり、合間に勉強を始めました。昨年4月TOEIC Bridge Testを受け、180点中172点でした。これはいけるかも?と思い、昨年7月にTOEICを初受験715点でした。更に昨年10月には725点。この先を超えるのが難しいです。このまま飽きずに続けて来年の事務所報ですばらしい結果の報告ができますように（主人からは、つくづく、私は、熱しやすく冷めやすい、と言われます）。



弁護士 中川 真吾

昨年4月、中小企業診断士として登録したこともあり、企業の戦略やビジネスモデルというものに興味を持っています。

そんな中、昨年11月に、シンガポール国際仲裁センター（SIAC）やシンガポール弁護士会（The Law Society of Singapore）などを訪問しました。シンガポールは、国際紛争のハブとなるべく国を挙げて取り組み、司法の分野でも積極的に外国へ門戸を開いています。世界的な競争にさらされるという点では少なくない痛みを伴うものと思われそうですが、戦略をもって生き残りをかける覚悟に感銘を受けました。

日本の司法も変革の時代を迎えています。当事務所はもちろんのこと、私個人としても戦略をもってリーガルサービスの提供に努めていきたいと思っています。



弁護士 森 優介

明けましておめでとうございます。

今年は、もみじの盆栽を愛でようと思います。夏頃に気まぐれで買ったものなのですが、この度、紅葉することもなく葉を散らし…10月には若葉を出すという、ひねくれ者に育ってしまいました（後日ちらっと見たところ、購入先の他の「子」達はちゃんと紅葉しておりました。）。日当たりか、気温か、水か、はたまた愛なのか。とりあえず、窓際に置き、室温を外気と同じにし、たっぷりの水をあげ、私の愛の限りピアノの演奏を聞かせておきます。今年こそは赤く…!!普通であることは難しい。そんなことを感じさせられました。

本年も、初心を忘れずに励みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

